

当院にて三尖弁逆流でご加療中の方へ

【研究課題】

三尖弁逆流症例の心機能変化に関する後ろ向き観察研究（審査番号11663）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 検査部/循環器内科

研究責任者 検査部講師 大門雅夫

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 榊原記念病院

担当業務 データ収集・匿名化

研究機関 順天堂大学医学部附属順天堂医院

担当業務 データ収集・匿名化

研究機関 天理よろづ相談所病院

担当業務 データ収集・匿名化

【研究期間】

倫理申請承認後から2022年6月30日まで

【対象となる方】

2007年7月1日 ～ 2017年6月30日の間に当院での心エコー検査にて中等度以上の三尖弁逆流の指摘があった方

【研究の意義】

三尖弁逆流は予後が悪く、また、逆流が重症であるほど右心機能低下例が多いことが知られています。しかし、三尖弁逆流の経過とともにどのように心機能が変化するかについてはデータがなくよくわかっておりません。そのため、三尖弁逆流患者さんを対象に、経過とともに心機能がどのように変化するかを後ろ向きに調査します。

【研究の目的】

三尖弁逆流のある患者さんのデータを後ろ向きに調査することで、経過とともに心機能がどのように変化するかを明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査、心エコー画像、臨床症状、身体所見、既往歴、合併疾患、全死亡、心イベント、治療介入の内容を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において大門雅夫が、電子ロックされた検査部心エコー症例検討室内のパスワードロックのかかるパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2017年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・内科学専攻病態診断医学講座臨床病態検査医学分野 心血管エコー研究室から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 検査部/循環器内科 講師 大門雅夫

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 34180） FAX：03-5800-8738

Eメールでのお問い合わせ：daimonm-lab@h.u-tokyo.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 検査部 診療科責任者名 矢富裕

2017年9月22日